

【特別支援学校用】

令和4年度学校評価 結果・学校関係者評価

学校名 佐賀県立大和特別支援学校

1 前年度 評価結果の概要 前年度は12項目中A評価が7項目、B評価が5項目、C評価は無くなり大きく改善した。 「児童生徒一人一人のニーズに応じた指導・支援による確かな学力の定着」「児童生徒、保護者のニーズに応じた進路指導の充実と社会生活を送るための力をつける教育の推進」「児童生徒が夢や希望をもち、将来の自立と社会参加に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動」「望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成」については改善したが、目標の成果に達することができなかった。これらの評価項目については、引き続き改善を図っていく必要がある。

2 学校教育目標 「たくましく自立し、積極的に社会に参加する人間の育成」 ・子ども一人一人のニーズに応じた最適な対応に努めることにより、子どもが自分の力を発揮しながら自立的・主体的に取り組む姿を実現し、将来の自立的・主体的な地域生活へつなげていく。

3 本年度の重点目標 ① 新学習指導要領に対応した授業づくりをチームで行い、保護者に伝わる学習評価の充実に努める。 ② カリキュラムマネジメントを推進し、教育課程の改善を図る。 ③ ICT機器の効果的な活用を図る。 ④ 業務改善等を行い、働き方改革を推進する。

4 重点取組内容・成果指標 shu7atshokido 中間評価 5 最終評価

(1)共通評価項目 重点取組 評価項目 取組内容 成果指標(数値目標) 具体的取組 進捗度(評価) 進捗状況と見通し 達成度(評価) 実施結果 学校関係者評価 主な担当者

(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目 重点取組 評価項目 重点取組内容 成果指標(数値目標) 具体的取組 進捗度(評価) 進捗状況と見通し 達成度(評価) 実施結果 学校関係者評価 主な担当者

5 総合評価・次年度への展望 ・11項目中A評価が6項目、B評価が5項目、C評価が0項目で昨年度より1項目A評価が少なくなった。課題を整理して次年度の改善策を検討していく必要がある。 「教育目標に即した教育の実践」「業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減減」「いじめの早期発見、早期対応体制の充実」「感染症拡大防止に係る取り組みの充実」については目標を達成することができた。